

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州山形村産長芋料理レシピ集製作及びやまっちそば普及事業
事業主体 (連絡先)	山形村観光協会 東筑摩郡山形村2025-8 Tel 0263-98-2200 Fax 0263-98-4004
事業区分	(6) その他地域の特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,033,190円 (うち支援金: 1,431,000円)

事業内容

◆山形村観光協会に新たに「長芋料理研究会」を設置

メンバーは村内飲食店関係者、村内宿泊事業関係者、農村生活マイスター、商工会役員・会員、農産加工友の会、行政関係者、JA松本ハイランド山形支所などの関係団体、その他長芋料理に関心のある方など24名で構成

◆長芋の調理方法の研究及び試作の実施、レシピ集の製作

長芋料理研究会メンバーにより、調理方法の研究・試食を実施。また、長芋レシピの公募を観光協会ホームページや新聞等のメディアで行い、レシピ作りの参考にした。研究委員会により、20種類のレシピを厳選し、レシピ集(B6判:フリーペーパー)を1万部製作した。

参加のべ100人、会議及びレシピ集の編成会議(検討会)5回実施、場所:山形村商工会館

◆観光協会ホームページにレシピを掲載(平成28年11月9日より公開中)

◆「やまっちそば」のポスター、リーフレット、食品見本ののぼり旗の製作

山形村の名物である「やまっちそば」の普及事業として、ポスター(B1判)50部、リーフレット(B4判)5,000部製作した。また、食品見本を17個、のぼり旗を30枚製作し、村内のやまっちそば提供店11店舗及び村役場、商工会館などの公共施設に展示し定着を図り、信州・松本そば祭りなど山形村観光協会が出店するイベントに展示を、観光客にPRを図った。

◆事業報告会の開催

事業実施報告及び完成したレシピ集のお披露目、試食を行った。参加者22人、平成28年11月1日実施、場所:山形村商工会館

◆長芋料理講習会の開催

製作したレシピ集の中から3~4点を実際に調理し、試食する講習会を2回実施した。参加者30人、平成29年1月29日・2月26日、場所:山形村いちいの里



【長芋料理研究会】



【リーフレット、長芋レシピ集、食品見本】



【ポスター、のぼり旗】



【長芋料理講習会】

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①長芋の生産から販売及び消費する関係団体が連携し、特産の長芋料理を研究したことにより、地域活性化への連帯感が生まれ、山形村特産の長芋を調理方法も含めて広報してゆく意識の共有が図れた。
- ②「とろろ」以外の長芋の食べ方があまり普及していない現状で、新たな調理方法を提案し周知することにより、新規顧客を掴み長芋の消費拡大に繋げた。
- ③「やまっちそば」は従来の「とろろそば」とは全く違った食感や味わいがあり、新しい「そば」のジャンルとして多くの消費者に興味を持ってもらい、村内飲食店への誘客効果を高めた。

## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ◆長芋料理研究会の継続
- ◆長芋の調理方法の研究及び試作の実施、新レシピ集の製作  
長芋料理研究会メンバーにより、長芋を材料にしたスイーツなどを加え、平成28年度版よりレシピの数を増やし、文字のサイズを大きくし、読みやすいようにB6判からA5判に変更する。
- ◆やまっちそばリーフレットの製作  
レシピ集と並行して、やまっちそばの新規のトッピングを開発し、より進化させてアピールするリーフレット（B4判三つ折り）を製作する。
- ◆広告代理店にプロモーションを委託  
長野県内を中信に中京圏や首都圏などを含む近県へ、やまっちそばのリーフレットを活用して広報プロモーションを行う。（広告代理店に委託）

## 【目標・ねらい】

- ①村内関係団体の連携強化
- ②長芋産地であることを村外へ発信し、知名度の向上
- ③村内での長芋の消費量をアップし、飲食店の活性化

## ※自己評価【C】

### 【理由】

長芋レシピ集を配布することにより、新規顧客を獲得するなどの効果があった。また、やまっちそばのリーフレット配布により、誘客につながり、食品見本やポスターも「食べてみたい」という意欲を向上させた。しかし、長芋料理レシピ集1万部、やまっちそばリーフレット5,000部で広報活動できるという当初見込みに対して、圧倒的に大きな需要があったので、それを満たすことができなかった。したがって、広報活動が製作部数の少なさにより制限されてしまった。

※自己評価ランは、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある